

しっぽうやき 七宝焼

概要・教育的効果

七宝焼は、銅板にガラス質の絵の具を塗って焼き付けたものです。陶芸やガラスとは違った魅力があります。
七宝焼の起源は古く、古代エジプトの頃にはすでに作られていました。ツタンカーメンの黄金のマスクにも施されています。日本にもシルクロードを経て伝わり、建築物の装飾や刀のつばなどに施されています。



1 活動計画立案にあたって

期 間 等	通年 ※雨天の代替プログラムとして実施			
指 導 形 態	職員が指導		引率者数	1 名以上
対象・人数	小学生以上、10～42 名まで			
実 施 場 所	研修室			
所 要 時 間	準備、後片付けを含めて3時間程度			
経 費	活動費：1 人 100 円、材料費：1 人 800円			
当 施 設 の 貸 出 物 品	物品名	数(1 セット分)	物品名	数(1 セット分)
	かま	1～2	ピンクのカゴ(裏引き、網、ホセ、ブラシ)	各班に 1 カゴ
	緑のカゴ(絵の具)	各班に 1 カゴ	黄色の物品 BOX	1
各 団 体 の 持 参 物	物品名	売店販売		
	ティッシュ	○		
	新聞紙	×		

2 活動の流れ

(1) 洗浄

- ① キーホルダーから銅板を外す。
- ② ボウルに1 cmほどサンポール溶液を入れ、水を半分ほど入れる。
- ③ 溶液に銅板を入れ、3分後溶液を捨て、ティッシュで銅板の汚れを落とす。
※溶液、銅板には直接触れないようにする。

(2) 裏引き

- ① 2人1組で白いカップに水を入れる。
- ② 金網の真ん中に、銅板を裏面にしておく。
- ③ 銅板の裏面に、ホセで裏引きをすくい取り、垂直に突きながら広げていく。
※水分が無ければ、黄色の物品 BOXに入っている液体を補充する。
※厚さが均一になるようにし、ふちから1 mm空ける。
- ④ ティッシュで水分をふき取る。
- ⑤ 水分がなくなるまで、かまの上などで十分に乾かす。※やけど注意！

(3) 色付け、焼き

- ① 銅板が見えないように、ふちから1 mm空けて1色絵の具を塗って下地をつける。
※絵の具の色は混ぜない、色を変える時は白いカップの水でホセを洗う。
- ② かまに入れて焼く。(かまの温度は800 度程度を保つ。)
※絵の具がヒーター光を反射してきたら取り出す。
※とても熱いので、お盆に乗せて持てるようになるまで冷ます。
- ③ 下地の上に模様をつける。
- ④ 再度焼く。

(4) 取り付け、片付け

銅板が冷めたら、ホルダーにボンドを塗って取り付ける。
※ボンドは端に塗る。※はまらない場合はやすりで削る。

七宝

- ・瑠璃(めのう) ・瑠璃(るり)
- ・赤珠(あかだま) ・金(きん)
- ・碑磔(しゃこ) ・銀(ぎん)
- ・玻璃(はり)

